



全国少年少女レスリング選手権大会 優勝!! 第3位!!



▲メダルと賞状を手にする高林心温くん(左)と西島一晴くん(右)

7月27日(日)に東京都の国立代々木競技場第一体育館で全国少年少女レスリング選手権大会が開催され、市内から出場した2人の選手が輝かしい成績を収めました。

北加積小学校3年の高林心温くんは同大会で優勝(小学生の部3年生 39kg級)。東加積小学校1年の西島一晴くんが、第3位(小学生の部1年生 20kg級)の成績を収め、大会終了後の8月7日(休)、市庁舎で大会の結果報告を行いました。

両選手は自身の成績について「とても嬉しかった。」と、当時の心境を語ってくれました。

普段から家などでもトレーニングしているという両選手。当面の目標は11月に金沢市で行われる北信越少年少女選手権大会で優勝することだそうです。

大きな会場で試合することはとても緊張するものですし、高学年になるにつれて、勝つことが難しくなるそうですが、全国大会で優勝・第3位に輝いたという実績を自信に変えて、今後の大会でも活躍して行ってほしいですね。



柳原でネイルサロン Le nail Salut (ル・ネイル サリュ) を経営するネイリスト、島 絵利香さんにお話を伺いました。



美容の世界に興味を持ったのは、私自身の結婚式がきっかけでした。今では女性の間でネイルアートが普及しつつありますが、当時は一般の方がお店に通うほど世間に浸透していませんでした。

結婚後、自分でもできないかと練習を繰り返し、上達するにつれて、私以外の方の手先もきれいにしたいという思いが強くなり、専門学校に通いました。学校ではネイルアートに関する様々な資格を取得し、卒業後は富山市のネイルサロンで3年間経験を積み、2010年10月、念願の自宅ネイルサロンをオープンしました。

来店されるお客さまは20代から50代の女性を中心です。最年少は2歳の女の子で、ネイル後のキラキラ光る爪を見て、嬉しそうに目を輝かせていたことが印象的でした。

この業界では、夏が繁忙期と言われています。夏場はサンダルを履く機会も多いので、足の爪をネイルされる方も多からず。足の爪というと、目立ちにくい場所かもしれませんが、お客さまの反応を見ますと、そういった細かなところをきれいにすることで、家事や仕事、遊びなど、普段の生活へのモチベーションが上がる。ネイルアートにはそういった不思議な力があるように感じます。

普段から心がけている事ですが、合わせたい衣服のイメージや、シーン(背景)などをお伺いしながら、お客さまが求めているデザインを提案できるよう、ファッション雑誌、アジア雑貨、スポーツ選手の衣装など様々なデザインを参考にしながらイメージを膨らませられるようにしています。

当面の目標ですが、ネイルアートを人に教える事ができる資格を取得しましたので、今後、ネイルアート教室などを開くことで、より多くの方にネイルアートが普及していけばいいなと思っています。

- ★ 正解者の中から抽選で、3人の方に次の中から希望の商品をプレゼント。下記の様式で申し込んでください。締め切りは、9月16日(火)必着です。
- ① あいらぶ湯入浴券
- ② 図書カード500円分
- ③ キラリンぬいぐるみ

広報クイズ?

8月号の答え
3人
8月号の当選者(敬称略)
高橋 純子(坪川)
平井 悦子(河端町)
松田 朝代(上梅沢)
(19通中18通正解)

〒529-3686
01
市役所
「広報クイズ」係

郵便番号
住所
氏名
クイズの答え
希望のプレゼント
(ご意見・ご感想)



▲8月に入ってもまだ花が咲く様子のない朝顔。寝ぼすけなののかのんびり屋なのか……。少し親近感を感じてカシャリと撮った一枚です。

▼ 広報担当になって5回目の広報誌。少し余裕も無いので、取材や編集の無い日には目的もなく風景ドライブし、きれいな風景を見つけたらカメラでシャリ! 地味ですが、最近ハマっている休日の過ごし方です。(S)

編集後記